

令和7年度 第1学年 技術科 年間指導計画

月	時数	単 元	観 点 別 学 習 状 況 の 評 価 の 観 点			ICTの活用
			知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度	
4	1	・技術分野のガイダンス	・材料と加工の技術の概念について理解している。 ・タブレット機器を有効に活用できる。	・安全な活動には、何を意識するのかを考える。 ・材料と加工の技術の最適化について考えている。	・3年間の技術分野の学習に見通しを持ち、主体的に学習に取り組もうとしている。	タブレット 電子黒板
	4	A材料と加工の技術 ・材料について	・身の回りの製品の材料の特性と材料に適した加工方法について理解している。 ・木材、金属、プラスチックなどの特性とそれを生かした利用方法について理解している。	・木材、金属、プラスチックの特性について調べ、どのような製品に利用されているか、またなぜその材料かを考え、まとめる。	・材料と加工の技術について考え、使用目的や使用条件に合わせて、最適な材料が選ばれていることに気付く。	タブレット 電子黒板
	5	・工具や機器の選択 ・工具や機器を安全に使用方法や安全のための決まり	・加工に応じた工具や機器について理解している。	・材料と加工の技術に込められた工夫を読み取り、「技術の見方・考え方」に気付くことができる。	・問題解決の工夫について考える。 ・身の回りの製品が材料と加工の技術によって最適化されていることに気付く。	タブレット 電子黒板
6	3	・材料と加工の技術の工夫	・材料と加工の技術の工夫を理解している。	・身のまわりの問題は何かを考え、課題の解決方法を考えることができる。	・問題点を発見し、課題を整理できる。	電子黒板
7	3	・製作品の構想 ・製図の方法 ・製図の決まり	・製作に必要な図の描き方を理解し、図に表すことができる技能を身に付けている。 ・効率的な作業手順を考えることができる。	・「技術の見方・考え方」を働かせて、問題を発見し、自分の課題を設定する力を身に付けている。	・新しい考え方や捉え方によって、知的財産を創造するとともに、他者のアイデアを尊重し、それらを保護・活用しようとしている。 ・製図の決まりを理解し、製作図を読み取れる。	電子黒板

9	1	<ul style="list-style-type: none"> ・工具、道具の使い方を学ぶ 	<ul style="list-style-type: none"> ・工具・道具の使用方法、及びその特徴に関する知識、理解がある。 ・工具・道具を正しく安全に使用することができる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・工具、道具の特徴を理解し、正しい工具、道具の使用について安全を配慮して選択することができる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・他者と協働して、取り組もうとしている。 	電子黒板
9 10 11 12 1	17	<ul style="list-style-type: none"> ・板材を利用した製品製作 	<ul style="list-style-type: none"> ・安全、適切な製作や検査、修正をすることができる技能を身に付けている。 ・修正が必要な際に、最適解の修正を考え、実行できる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・材料と加工の技術の最適化について考えている。工具や機器の取り扱いでは、安全を徹底させ、適切な使い方ができる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・よりよい生活の実現や持続可能な社会の構築に向けて、材料と加工の技術を工夫し創造しようとしている。 	電子黒板
2	1	<ul style="list-style-type: none"> ・製作のまとめ ・技術と私たちの生活について考える 	<ul style="list-style-type: none"> ・材料と加工の技術の概念について理解している。 	<ul style="list-style-type: none"> ・よりよい生活の実現や持続可能な社会の構築に向けて、材料と加工の技術を評価し、適切な選択、管理、運用、改良、応用について考えている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・よりよい生活の実現や持続可能な社会の構築に向けて、材料と加工の技術を工夫し創造しようとしている。 	電子黒板 タブレット
3	2	<ul style="list-style-type: none"> C生物育成の技術 ・生物育成の技術 ・生物育成計画 「ミニトマトの栽培」 	<ul style="list-style-type: none"> ・生物を育てる技術の目的について理解している。 ・植物の成長の状態に合わせて、適切な管理作業を行う技能を身に付けている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・健康に育成するために、生育に適した時期や生育状況を見ながら、目的に応じて作物やその周辺に手を加えることの必要性を考えている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・主体的に生物育成の技術について考えようとしている。 ・他者と協働して、粘り強く取り組もうとしている。 	電子黒板 タブレット
35時間		評価の方法	<ul style="list-style-type: none"> ・製作作業 ・行動観察 ・授業中の発言 ・タブレットの活用 ・授業の振り返りシートの記入と提出 ・レポートの提出 ・ノートの記入と提出 ・プリント記入と提出 ・栽培計画 ・栽培記録 			・定期考査